

賀



院長 征 五島

明けましておめでとつございませう。今年こそ、より多くの幸せにあふれた年であってほしいものと願っております。

明るさが見えない社会情勢のなか「改革」が叫ばれ、総医療費を抑制するという政策が取られております。

本年四月に行われる診療報酬の改定は、またマイナスになると言われており、病院を取り巻く医療経済環境はますます厳しくなります。どのような社会情勢になろうとも、中東遠地域の中核病院として、「愛365

地域に 密着した 魅力ある病院に



日」の精神を持って、この地域の皆様に満足と安心をもって受け入れられる、より質の高い医療を提供することに努めていきたいものと存じます。

昨年の業務を 振り返って

旧年中には、心血管を撮影するアングラ装置の導入や頭部CTを最新の全身ヘリカルCTに入れ替えたほか、健康安心サロンのX線テレビ装置を更新するなど診断の質の向上を図りました。

また、平成十五年一月に電算システムを更新し、十一月には画像生理内視鏡オーダリングシステムを導入するなど、日常の診療や看護業務などの効率化を図りました。施設改良では放射線室増築工事やヘリポート・玄関通路の舗装工事、防災倉庫の建設工事を行いました。

平成十五年四月に地域連携室を新設し、当地域の開業医の方々との連携を図るとともに、患者様やご家族の医療や介護についての相談窓口としました。九月には治験管理室を設置しましたが、治験がどしどし依頼されてくるような質の高い病院になりたいものと思っております。

医療サービスの 向上を目指し

本年八月には日本医療評価機構の審査を受ける予定です。第三者の評価は当院の在り方を見直す良い機会になります。一度の審査で合格したいものです。

旧年中、常勤医の確保が困難となり産婦人科の診療を縮小するという事態を生じ、市民の皆様には多大なご心配とご迷惑をお掛けしました。心からお詫び申し上げます。二度とこのようなことを起こしてはならないと胆に命じております。本年四月からは産婦人科の常勤医が着任され、診療が再開され出産分娩も通常に行われるように準備いたしました。

小児科など多くの診療科で医師不足であり、関係の皆様にご迷惑をお掛けしております。なんとしても医師を確保するように努力したいと思っております。本年度は、例年になく多くの研修医を受け入れる予定です。本年もよろしくご指導のほどお願いいたします。

